

No 144
2008.3

ひろお

議会だより



長尾京五海市親善交流少年団来町

C contents

第4回定例会の審議内容	2
一般質問（5人が登壇）	4
予算審査の状況	8
議員定数に基ずる調査特別委員会	9
第1回臨時会の審議内容	9
決算審査の状況	19
常任委員会（関係市政課の総務と経財）	22

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会
〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目

E-mail gika@town.hiroo.hokkaido.jp
TEL 01559-2-0190（議会西室） FAX 01558-2-4833

第4回定例会

議員定数を改正 16人から14人へ

定例町議会は、平成19年12月7日に開会、会期を13日までの7日間としました。

18年度決算認定をはじめ、人事案件、条例の一部改正や補正予算などを審議し、いずれも原案どおり可決しました。

また、議員定数に関する調査特別委員会の調査結果が報告され、同特別委員会提案による議員定数条例の一部改正を可決しました。

□平成18年度一般会計ほか9会計の決算認定

第3回定例会で決算審査特別委員会に付託され、閉会中の継続審査となっていた一般会計ほか7特別会計と2企業会計の合わせて10会計の決算認定は、審議の結果、認定すべきと決定。

12月7日開催の本会議で委員会報告が行われ、討論、採決の結果、全会計を認定した。（同特別委員会での質疑状況は10から11ページに掲載）

＝ 討 論 ＝

一般会計

★反対討論 車 清一議員
長引く経済不況で、住民の暮らしと営業はますます厳しくなっている。公共料金の引上げや給付削減など、大変な思いをしている住民に、最も身近な行政でなければならぬが、それに応えていない。

☆賛成討論 小田 英勝議員
厳しい行財政運営の中、予算の適正な執行に努め、福祉・医療・保健・衛生行政の推進や生活環境基盤整備、教育振興のほか、地域を支える産業

の振興にも努力された決算である。

港湾管理特別会計

★反対討論 星加 広保議員
石炭ヤード使用料は、1平方メートルあたり15円と定めているが、多額の費用をかけた設備が安く貸与されている。独立の会計として財源を確保するため、適正な使用料にすべきである。

☆賛成討論 船木登良男議員
十勝港の振興は町の発展につながるものであり、取扱貨物の増大を図ることは重要である。現在まで進めてきた港湾施設の整備を始め、土地の貸付けなども適正に行われており、十勝港の利活用を促進するという総合的、客観的な見地から賛成する。

国保事業勘定特別会計

★反対討論 車 清一議員
国保税は、低所得者に厳しい税であり、高齢者控除の廃止や公的年金控除の縮小など、ますます低所得者層の厳しさが増している。

☆賛成討論 小田 英勝議員

国民の健康と福祉を保障する極めて重要な役割を果たす制度である。多額の収入未済があり、監査委員の意見書でも収納率の向上を期待するとしているが、適正な運営がされている。

介護保険特別会計

★反対討論 旗手 恵子議員

年金の減額や税制改正により厳しい暮らしの中で、さらに制度が改正され、新予防給付の導入、生活援護の削減など介護認定を受けても、居宅施設介護を受けていない人が増えている。特養待機者も増えており、高齢者や家族に負担や不安を与えないような改善が求められている。

☆賛成討論 小田 英勝議員

多くの町村が保険料を上げた中、本町は、保険料を据置き運営している。サービスの提供機会を増やしながらも、適正な運営の結果である。厳しい財政状況の中で、介護福祉金の支給、利用料の負担軽減措置を継続しており、努力が認められる。

国保病院事業会計

★反対討論 旗手 恵子議員

高齢者を取り巻く環境は厳しさを増す一方で、老人医療費の助成は、現役並み所得者2割負担が3割に引き上げられ、高齢者の療養病床入院の食費、居住費は保険対象外と新たな負担増は、受診抑制にもつながっている。

☆賛成討論 小田 英勝議員

健康保険法の改正により、昨年、療養病床における入院時生活療養費が創設されたが、低所得者対策や入院医療継続する患者についても考慮され、安定運営を確保する必要な処置である。病院経営は年々厳しく、採算性の低い医療の提供と経済性、効率性をいかに調和するかという課題はあるが賛成する。

□広尾町監査委員の選任

平成19年12月16日で任期満了となる須田正彦氏の再任に同意した。

□広尾町公平委員会委員の選任

平成19年12月10日で任期満了となる餅野宮詰夫氏の再任に同意した。

□町職員給与条例の一部改正

□企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正

いずれも人事院勧告に基づき、条例の一部改正を可決。

【主な内容】

・給料表を全体で0.35%の引上げ改定

・子等の扶養手当の支給月額を500円引上げ

・勤勉手当の支給月数を0.05月引上げ

□水道事業及び下水道事業運営審議会条例の制定

現在の「水道事業経営審議会」と「下水道運営審議会」を一本化し、機構の合理化を図る条例の制定を可決。

平成20年4月1日施行

□十勝管内自治体病院医薬品等共同購入協議会の設置

地方自治法に基づく協議会を設置。

【設置目的】

自治体病院のある管内8町が連係し、経営改善を図るため、医薬品や診療材料等の共同購入によりコスト削減を図る。

□平成19年度一般会計ほか9会計予算の補正

10会計の補正予算は、予算審査特別委員会で審査の結果、可決すべきと決定。

本会議で原案どおり可決。

(同特別委員会の質疑状況は8ページに掲載)

□過疎地域自立促進市町村計画の変更

病院施設増築整備事業に伴う計画変更。対象事業費の50%が過疎債で充当され、これに係る元利償還分の70%が地方交付税で処置される。

□町議会の議員の定数を定める条例の一部改正

現行の議員定数「16人」を「14人」とする条例の一部改正を可決。

平成20年4月1日以降に行う一般選挙から施行。

□意見書案8件、陳情1件を可決、請願1件を常任委員会に付託

意見書、陳情は14ページに掲載。

また、「広尾町国保病院の存続を求める請願」は、総務常任委員会に付託し、閉会中の継続審査とした。

一般質問

5人が登壇 行政の考えを問う

Q 歩道の安全対策は

A 調査し改修工事を行う

小田雅二議員

町民が毎日利用し、子供が学校へ通い、お年寄りが散歩を楽しむ「歩道」は、安全で歩きやすい状況か。常任委員会で調査した7丁目のオスロ通や丸山通の平板ブロック部分は大変危険で早急な改善、改修が急務である。超高齢化時代で、視覚障害者や電動車いす利用者が増加する中、段差のない歩道はもちろん、音の出る信号機等の設置も必要。車のための道路整備に重点を置きすぎ、歩道への配慮が欠けているが。

大野町長

歩道の平板ブロックは整備後十数年経過し、経年劣化が進んでいる。随時、アスファルト補修工事を実施している。計画的な維持補修が望ましい



7丁目（オスロ通）

が、全面となると多額の補修経費等のこともあり、毎年、調査を行い、段差の解消、平坦性の確保に配慮すべきと考えている。

また、今後、音による誘導式信号機についても取り組むべきと思っている。

Q いじめ問題の根絶を

A 学校、家庭、地域の 連係で子供たちを守る

小田雅二議員

文部科学省発表の2006年のいじめや暴力行為の発生件数は、前年比6倍の約12万5000件に達した。理由はじめの定義の変更によると、文科省の「5年で半分」「いじめをゼロ」などの運動が原因で「いじめ隠し」があったとも考えられている。実際の状況が把握されていないことから、教育委員会、教育長にはさらに積極的な姿勢が求められる。PTAや学校との協議回数を含め、これまでの対応と今後の対策は。

山下教育長

いじめの定義の見直しにより、これまでの件数を大幅に上回った。町教委として、これまで以上に家庭や地域と連

係を強め子供たちを守ってきたい。

文科省では、いじめがあることを認めていかに解決するかが重要であるとの考え方の転換があり、このことは既に学校関係者に徹底している。

昨年、道教委が実施したいじめに関する実態調査の際に、一部の教職員が協力せず、管理職が対応したところもあったが、管内では教職員の協力のもと粛々と実施された。

町教委としても、常に子供たちにとって一番よい方法を指導していく観点に立ち、問題解決に取り組んでいきたい。

Q 石油製品の高騰、住民生活を守る対策を

A 深刻な事態、対応を協議



灯油価格高騰は深刻な問題

車 清一議員

住民にとって給与は削減、雇用不安、増税、社会保障は縮小や廃止、そう言う中で石油製品は極端に値上がりし、ようやく国や道も福祉灯油などを考えている。それはそれで大切なことだが、住民の深刻な生活不安にその程度でお茶を濁してはならない。原油市場への投機資金の過度の流入、この時とばかりの国内大手石油卸売りメーカーの膨大な経常利益、この値上がりは決して自然現象でないことにしっかりと目を向けて政治的、社会的責任と、そして対策を

求めるべきでないか。

大野町長

石油製品の高騰は家計を直撃し、これから寒い時期を迎え大変憂慮し、深刻な事態と受けとめている。また、多くの産業経済活動にも多大な影響が生ずるものと危惧している。

Q 町立病院の存続決意を

A 命と健康を守る

車 清一議員

してほしい。

19年10月4日に道が発表した自治体病院等広域化・連携構想（素案）は、地域医療切捨てを推し進めるものとして、

大野町長

日本共産党は同年12月1日、錦町寿の家で「みんなで病院を守る集い」を開いた。多くの町内会長、老人クラブの方々が動員だけでなく、請願署名などにも真剣に協力された。

安心して暮らせる町として、病院だけではなく保健・福祉・医療を包括して考える必要がある。

私たちはその熱意に改めて絶対に診療所に縮小などさせない責任を痛感した。高齢者の比率が高まる中で、安心して老後を送れる広尾町にと町議会の場合からも町長の決意を示

帯広から離れている地理的なことを考えても、命と健康にかかわることであり、病院を守っていくということは論を待たない。

今後国、道の動向を見きわめ、病院の経営診断を参考に、しっかりと守っていくことが極めて大事だと認識している。



議会は公開が原則です

- ・ 定例町議会は、3月・6月・9月・12月の年4回開かれます。
 - ・ 臨時町議会は必要のつど開かれます。
- どうぞお気軽に議会を傍聴して下さい。

お問い合わせは議会事務局へ。TEL2-0180

Q 後期高齢者医療制度に 町独自の軽減策を

A 道内の状況を見きわめ判断

旗手恵子議員

20年4月からの75歳以上高齢者の医療保険料が決定した。現在の国保税より低くなるのは28・3%の人だけ。大多数は今より保険料が高くなる。75歳になると負担増になるという「逆転現象」は避けるべき。町が国保会計へ財政支援しているように後期高齢者医療にも独自軽減策をとるべきでないか。

75歳以上の健診も自己負担一割と決定。74歳までは無料で、75歳になったら有料となる大きな矛盾。引き続き無料にすべきではないか。

大野町長

後期高齢者医療保険料と国保税を個々で比較すると負担増になる方々が生じることは理解している。ただ、町の国保税が管内的には低いことも事実であるが、被保険者のことを考えると両面で考える必要がある。新たな制度であり、



町内で行なわれた制度説明会

町独自の軽減策は道内の状況を見きわめ慎重に考えている。

また、健診についても矛盾した話であり、保険制度全体枠組みの中で基本的にとどうあるべきかを検討した上で判断すべきと考えている

Q 季節労働者の就労対策 は

A 実施可能な事業を検討

旗手恵子議員

季節労働者は、冬期技能講習の廃止、雇用保険の特例一時金が50日から40日に削減され厳しい状況におかれている。地元中小企業が活用してきた安定奨励金による賃金助成もなくなるので、冬期の雇用機会の減少も予想される。

町独自に季節労働者の生活支援対策、公的就労など仕事の確保が必要ではないか。

帯広市、士幌町、新得町など補正予算を組んで対応している。本町でも早急に対応にすべきでないか。

大野町長

これまでも道、国に要請し、結果、通年雇用促進支援事業の補助事業制度が創設された。町の支援事業を帯広市と南十勝の町村で協議会を立ち上げ、職業訓練や技能講習など実施するが、有効性が見えない部分がある。さらに、町独自に農業用排水路の維持事業につ

いて冬期間に実施できないかを調査し、検討する。

お詫び

19年12月発行の議会だより第143号5頁に掲載の旗手議員の一般質問中に誤植がありました。

訂正し、再掲載します。

本町の2007年度普通交付税は前年度から減額で決定されたが「新型交付税」、「頑張る地方応援プログラム」は、小規模自治体の支援内容となっているか。

「頑張る地方応援プログラム」の事業計画内容はどうか。一般財源確保のため3000万円、3年間の枠を十分活用すべきでは。

来年度以降、条件不利地域の自治体への交付税削減にならないよう、国・道へ働きかけられるべき。

Q 人口減の対応策は

運輸業等の雇用増など、人口減の歯止めを期待している。新年度での総合的な施策に言及することは控えたい。

町長、議員の改選期のため

A 飼料コンビナートの雇用増に期待

阿曾公道議員

国の構造改革と三位一体の財政運営は国民のあらゆる面にひずみと格差を生み出し生活に一層の苦しさを与えている。町も一定の努力をしている。

と思うが、一向に人口の減少を防ぐことができない。人口の維持には地域の産業振興による雇用対策が不可欠である。丸紅グループの飼料コンビナート進出が決定し町民は大きな希望を持っている。新年度においていかなる人口維持の施策を執行するのか。

Q 可能性が見えないバイオエタノール工場誘致

A 中長期的に取り組む

阿曾公道議員

可能性が見えないバイオエタノール製造工場誘致活動に、町が補助金を支出し、町長自ら会長を務めるに至った経緯も含め聞く。

大野町長

製造プラントへの補助について、農水省では輸入原料を使ったバイオエタノール製造工場は、補助対象としない考え方である。

1、この事業は国家的支援が必要と思うが、輸入原料による国内製造に省庁の支援が得られるのか。

2、原料輸入とエタノール販売は、どこを想定しているのか。

3、広尾町への立地可能性はあるのか。高騰する原料の調達や輸送船舶の確保は可能か。

誘致企業の見通しと採算性についてどのように検討したのか。

実際に製造工場立地の可能性が見えた段階で、系列の枠組みについては、石油連盟が買上げ、全国に供給することになるのではと思っている。

工場立地の可能性は、補助制度と優遇税制の確立により展望が開けるが、現時点、十勝港への進出を希望する企業等の見通しは立っていない。



飼料コンビナート建設予定地（十勝港第4ふ頭）

大野町長

新規就農者を含む農業・酪農振興を初め、十勝港の利活用の促進、第1次産業の継続的支援、福祉・医療等を守るとともに子育て支援、あるいは住宅対策、教育振興など総合的な施策を講じてきた。しかし決定的な人口減の歯止め策がないのが実態である。そんな中で全道的な団塊世代を対象とした移住促進の取組があり、町も移住促進協議会に参画し、PRに取り組んでいる。

また、飼料コンビナート進出により、従業員、関連する

Q 改選期での町長の去就は

A 後援会と相談し最終結論へ

船木登良男議員

町長就任以来、激変する中で町政執行であったと痛感する。

町村合併問題ははじめ、港湾債の平準化、人件費の削減、学校再編、加えて地震災害対策など山積する難問を議会との激論を交わしながら取り組んできた。

また、港湾への進出企業が決まり、飼料コンビナートの建設は、新しい発展の第一歩と思う。現職として完成を見とどけるべきではないか。未来を考え、時間をかけて結論を出して欲しい。

大野町長

就任7年半を経て、私自身が思い描いていた役割も終わりに近づいていると感じている。

昨年春以降、体力的に疲れも感じてきた。

体力、知力、気力の3つがあって町政執行もやり遂げられるが、体力と知力に衰えを感じた今、満足のいく町政ができるのかということを自分の中で考えてきた。

最終結論は、後援会と相談のうえ出したいと考えている。

予算審査特別委員会

委員長 小田 英勝

副委員長 神社 昌勝

平成19年度補正予算の内訳

(単位：千円)

会 計 名	補 正 額	補正後の額
一 般 会 計	199,822	7,622,982
港 湾 管 理 特 別 会 計	△ 2,320	189,695
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	△ 314	77,673
下 水 道 事 業 特 別 会 計	△ 4,976	582,236
国 保 事 業 勘 定 特 別 会 計	32,399	1,270,969
老 人 保 健 特 別 会 計	1,986	943,786
介 護 保 険 特 別 会 計	237	594,369
介 護 サ ー ビ ス 事 業 特 別 会 計	3,309	233,431
国 保 病 院 事 業 会 計 (収益的收入・支出)	△ 369	862,385
(資本的收入・支出)	67,744	151,624
水 道 事 業 会 計 (収益的收入)	△ 2,748	130,663
(収益的支出)	△ 680	101,108
(資本的支出)	△ 5,163	68,085

一 般 会 計

平成19年度一般会計ほか9会計の補正予算案10件は、12月7日に設置された予算審査特別委員会に付託し、13日に再開された同特別委員会で審査を行い、全補正予算を原案どおり可決すべきものと決定しました。

て建設するよう道から要請があった。

Q 公営住宅建設計画を前倒して繰越明許費で行う理由は

A 道の地域住宅交付金に未了額があり、計画を前倒し

Q 福祉灯油の全体の金額、戸数は
A 1世帯あたり100リットルで70世帯分。予算は82万3000円。

議員定数に関する調査特別委員会

委員長 村上 正篤

副委員長 阿曾 公道

開催日 平成19年6月20日から12月7日まで計5

回開催

第一回

臨時会

1 調査の経過

道内町村議会及び十勝管内町村議会の議員定数の削減状況について調査を行った。

特に、管内他町村では、地方自治体を取り巻く厳しい行財政状況の変化の中で、芽室町議会を除くすべての町村議会において、最小1人から最大6人の議員定数の削減が実施された。

こうした状況を踏まえ、当議会の具体的な議員定数について、議論を重ねた。

2 調査の結果

議員定数の削減はすべきとの結論に至り、委員会として次期改選から定数を14人とすることに決定した。

また、条例改正案を当委員会提案することとした。

平成20年第1回臨時会は1月30日に開会、補正予算1件、意見書案1件が提案され、原案どおり可決しました。

□平成19年度広尾町一般会計補正予算（第9号）

歳入歳出予算の総額に、9000万円を追加。歳入歳出予算総額をそれぞれ77億1298万2000円とする補正予算を原案どおり可決。

【主な補正内容】

十勝港湾湾計画に基づく国の直轄事業の追加に伴う負担金の追加補正。

□意見書案1件を可決
意見書は14ページに掲載。

お願い

議長あての文書は議会事務局へ

議会議長あての文書や案内状は、議長の公務日程を調整する必要がありますので、議会事務局へお届けください。

請願・陳情の提出について

請願（陳情）とは、国や道、町に対し希望や要望をすることで、憲法や地方自治法に規定された住民の権利です。

私たちの町を住みよい町にするために請願（陳情）書を御利用ください。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

書式例

請願書（陳情）	平成 年 月 日
広尾町議会議長 様	
住所	
氏名（又は法人名、代表者）	
紹介議員（陳情は必要なし）	
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇について	
請願事項（要望を簡潔に）	
請願趣旨（理由のみ）	

閉会中の所管事務調査

2 常任委員会と議会運営委員会は、第1回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ①町役場組織と管理体制について
- ②廃校施設の利活用について

◇産業常任委員会

- ①農業振興の現状と課題について

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の会議規則、委員会条例等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

決算審査特別委員会

委員長 おた 小田 雅二
副委員長 旗手 恵子

決算審査特別委員会は、平成19年9月10日から11月2日までの計5日間開会され、一般会計から水道事業会計までの18年度決算10件を審査し、討論・採決を行った結果、認定すべきものと決定しました。

平成18年度決算を認定

□主な質疑□

一般会計（歳出）

総務費

Q 滞納者を滞納整理機構に引き継ぐのは、地方分権の流れに反するのでは。

A 大口の悪質滞納者のみを引き継ぎ、徴収の徹底を図るもの。

Q とかち財団へ多額の出資をしているが、本町としての利点、効果は。

A 各種イベント等への参加など、本町も十勝の一員として参画し成果をあげている。

民生費

Q 一般会計から国保会計への繰出金額は適正か。

A 国保加入者の担税能力は限界であり、収支の均衡上、

繰り出しはやむを得ない。

Q 養護老人ホーム入所待機者の対処は。

A デイサービス、ショートステイ利用等に対応する。

衛生費

Q ハチの駆除対策を有料化しては。

A 巣を作らせない実験も考えている。有料化は検討したい。

農林水産業費

Q 林業振興費の工事費の内容は。

A 森林組合に発注した造林事業。

商工費



旧レストハウス

Q シーサイドパーク内の旧レストハウスの活用は。

A 建物が特殊であり、利用希望者がいない。



民家に作られたハチの巣

Q サンタメール発送数が年々減少しているが。

A インターネットや携帯電話など通信機能の発達により、郵便そのものが低迷しているのも一つの要因と考える。

Q サンタの山の植栽株の単価は。

A ばらつきがあり、安いものは350円、高いものは1700円程度。

土木費

Q 港湾振興会への補助効果は。

A 町と振興会の役員が一体となってPR活動を進めている。

教育費

Q 教員住宅整備費が前年比で約200万円の減となった理由と今後の整備は。

A 平成7年に建設した教員住宅の償還が完了した。また、住環境は、毎年の予算の範囲で整備する。

Q 中高一貫教育の広報啓発の成果は。

A 反省点を踏まえながら、保護者、地域の理解を得て事業の定着を図りたい。

Q 全国学力テストで、本町はどの位置にあるのか。

A 学校別、町村別での結果は公表されていないため、不明である。

Q 海浜体験留学施設の転用方法は。

A 全国的なNPO法人による体験学習に利用されたが、地域と協力して施設の活用を図りたい。



海星寮

Q スクールバス運転手の空き時間に、巡回公務補をさせているが、一定の生活保障も必要では。

A 委託を含め、見直しを検討する。

国保事業特別会計

Q 約195万円の不納欠損の経緯は。

A 時効及び担税能力の乏しい実態から7件を執行。

Q 介護認定されても居宅、施設介護を受けていない割合が増えているが。

A サービス提供を規制しているものではない。

介護保険事業特別会計

Q 福祉用具の購入で制約があると聞くが。

A 法改正による制約について、あらゆる手段を講じ対応した。

国保病院事業会計

Q 入院時での食事代、居住費の新たな負担増に伴う受診抑制の影響はどうか。

A 総体で減少しており影響はある。

総括質疑

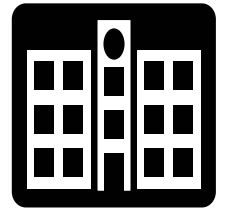
◆車 清一委員

18年度決算については、町民の暮らしが一層厳しくなっている中で、国保制度や介護制度、福祉が国によって改悪されている。国の政治そのものを変えなければ根本的解決にならないと思うが、町長の見解は。

◆大野町長

地方交付税の削減傾向が続き、各分野で地方へのし寄せがあった年と思っている。共通の悩みを持つ多くの町村とともに、国、道に対し求めるべきものは求めている。認識を持ち、住民と共通の認識をもち、住民の立場に立つて要求することを基本に、町民の思いを背負ってきたと思っている。

総務常任委員会



所管事務調査の経過と結果

町懸案施策とまちづくり計画の進 ちよくについて

開催日 平成19年11月13～14
日・21日

①「道の駅」構想について

一昨年、関係町職員による道の駅検討委員会を立ち上げ、資料収集等を行った。その後、町内関係者による道の駅検討委員会を設置し、町内の適地

NPO法人の活動状況と支援・育 成について

① 美瑛町

美瑛町の全世帯中、高齢者夫婦世帯は900、高齢者単身世帯は440を数える。こうした世帯を対象に、少しの援助で自立した在宅生活が継続できるよう、訪問生活支援サービスを提供する高齢者に提供し、要介護状態への進行を予防するとともに、住み慣れた自宅で暮らし続けられることを目的とした「くらし援助サービス」を町内NPO法人に委託して行っている。援助サービスは、外出援助、食事準備、玄関前の除雪などで、

候補地の調査をはじめ、管内外の道の駅の視察調査を行った。豊頃町の地場産品試験販売所を参考に町では旧広尾駅（現待合室）を改修し、町内業者による地場産品の試験販売を検討している。

委員から、交通量の少ない旧駅舎は、場所として疑問があり、また出店を希望する業者も少なく、試験販売とはいえ施設の改修も必要なことから、慎重な判断が不可欠との意見があった。これに対し町からは、出店希望者に光熱水費の負担を求めることなども含め、意向を確認し、そのうえで判断をしたいとの説明があった。

委員から、計画の見直しやその具現化の可能性、また利用者等の声をもっと聞くべきとの質疑があった。これに対し町からは、地震被害により取壊した。必要な施設であり計画に登載したが、財政状況をみて具現化には慎重を期したいとの説明があった。

一日2時間を限度として週1回の利用ができる。利用者負担金は、1回100円から200円。町からNPO法人の委託料は年125万2000円。

町ではNPO法人の活動に対し、地域づくり、まちづくりの視点から今後も期待、支援したいとのことだった。

② 清水町

町内の概ね65歳以上の寝たきり認知症や老人クラブに未加入の単身あるいは夫婦のみの高齢者などを対象に、NPO法人「在宅福祉を支えるす

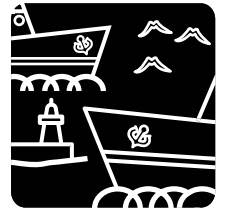
ずらの会」が託老事業を行っている。託老事業は、毎月2回、清水、御影両地区の公共施設を会場に保健師の健康問診、ゲームやレクリエーション、昼食などNPO法人の会員が対応している。このNPO法人は、町、社会福祉協議会などから補助・助成を得ている。地域密着型の痴呆性高齢者を対象とした託老事業は、一定の効果が現れており、町では、NPO法人の活動や事業に係る町有施設の利用について無償としているほか、託老事業への保健師派遣などの協力を行っている。



活動状況を調査（清水町）

産業常任委員会

所管事務調査の経過と結果



十勝港の整備状況について

開催日 平成19年10月23～24
日・11月16日

伸、港湾施設用地の整備、臨
港道路の整備

平成20年度の整備計画

【本港地区】マイナス13m航
路浚渫

【外港地区】小型船だまりの
整備

港内漂砂埋没対策のため継
続事業として外南防波堤の延

【津波対策】船舶用油タンク
防護柵の整備

【南地区】平成18年10月の低
気圧による高波により背後施

設が被害を受けたことによる
南防波護岸の整備

【北地区】第4ふ頭臨港道路
の整備

町道の除排雪計画について



町道の排雪（北1線）

除雪対象路線延長は、23万
487mで、町道の廃止、音
調津小中学校の統廃合により、
18年比806m減少。

委員から、旧駅前の道道
「広尾停車場線」の除雪につ
いて、作業時間帯が異なるこ
とから、町で受託し対応して
ほしいとの住民要望があると
の質疑に対し、町からは道と
協議したいとの説明があった。

水産加工の生産及び販売状況につ いて

①ぎよれん総合食品株式会社
（小樽市）

北海道漁連が、漁業者のた
めの価格維持と付加価値向上
を目的とし、秋さけの加工拠
点として石狩湾新港流通団地
内に設立。年間販売額は約33
億円で、従業員数はピーク時
（アルバイト含む）約130
人の体制。

販売先としては、味の素、
生協、コンビニにフライ加工
品を出荷。

さけをはじめ、さんま、た
こ、ほっき、ほたて等を取り
扱っている。



ぎよれん販売株式会社視察

品質管理のためX線の検査
機器等を導入しているが、基
本的には目視に頼らなければ
ならない。また、国内で消費
されるえび、にしん、数の子、
うなぎ等の90%以上が外国産
で、2～3年以内にはすべて
自由化の方向にあり、今後は、
漁業、水産加工業とも一層厳
しい経営になるとの説明があっ
た。

②ぎよれん販売株式会社（札
幌市）

道漁連100%出資の会社
で、主にイクラ、数の子、た
らこなどの魚卵を加工してい
る。年間販売額は約25億円。
生協や地元スーパーが主な出
荷先。イクラは安定的に供給
されるが、たらこ、数の子の
ほとんどは輸入に頼っている。
秋さけ、ほたて、いか、ほっ
け等は、安定的に確保可能だ
が、それ以外は困難で、また、
漁業者の高齢化と減少のため、
漁獲量等も減り、物流上も採
算に合わなくなっている。原
料不足という状況も水産加工
業の衰退の一因。

意見書を提出

平成19年第4回定例会及び平成20年第1回臨時会に意見書案9件が提出され、審議の結果、全案を可決して関係機関に提出しました。

●19年第4回定例会

- ◇BSE全頭検査の実施に関する要望意見書
(提出議員 鯖江 義信)
 - ◇悪質商法被害をなくすための割賦販売法改正を求める意見書
(提出議員 神社 昌勝)
 - ◇季節労働者対策の強化を求める要望意見書
(提出議員 旗手 恵子)
 - ◇広尾町国保病院の存続を求める要望意見書
(提出議員 車 清一)
 - ◇石油製品の価格引下げ対策に関する意見書
(提出議員 車 清一)
 - ◇地域医療を守り、国立病院の存続・拡充を求める意見書
(提出議員 旗手 恵子)
 - ◇第二期地方分権改革に当たり地域間格差の解消を求める意見書
(提出議員 村上 正篤)
 - ◇品目横断的経営安定対策の抜本的見直しを求める意見書
(提出議員 小田 英勝)
- ### ●20年第1回臨時会
- ◇「道路の中期計画」の推進と帯広・広尾自動車道の早期完成を求める意見書
(提出議員 村上 正篤)

陳情書を採択

- ◇「後期高齢者医療制度及びに70歳～74歳の医療費2倍化(2割負担)の改善を求める意見書」の提出を求める陳情書

陳情者 十勝勤医協広尾友の会
代表 村上 雅彦

議会日誌

【12月】

- 4日 議会運営委員会
- 4日 南十勝消防事務組合議会(広尾町)
- 6日 十勝町村議会議長会定例会(帯広市)
- 7日 第4回町議会定例会(～13日)
議員定数に関する調査特別委員会
- 27日 消防団歳末特別警戒慰問

【1月】

- 4日 消防団「出初式」
- 5日 はたちのつどい
漁業協同組合初競り
- 7日 町新年交礼会
- 11日 船霊祭
市町村行政懇談会及び新年交礼会(帯広市)
- 12日 第5対舟艇対戦車中隊と2町新年会
- 16日 農業委員会新年会
- 17日 身障広尾町分会新年交礼会
- 20日 中川昭一後援会新年交礼会
- 21日 交通安全祈願祭
- 24日 商工会永年勤続従業員表彰式
- 30日 第1回町議会臨時会
産業常任委員会

【2月】

- 1日 長崎県西海市親善交流少年団歓迎式
- 5日 道路特定財源の確保を求める全道総決起大会(札幌市 ～6日)
- 12日 総務常任委員会
- 16日 札幌広尾会総会(札幌市 ～7日)
- 17日 中川義雄参議国政報告会(音更町)
- 18日 議会広報特別委員会
- 21日 十勝町村議会議長会定例会(帯広市)
- 25日 南十勝複合事務組合議会(大樹町)
- 27日 森林組合通常総会
- 29日 十勝圏複合事務組合議会ほか(帯広市)

編集後記

広尾町議会の議会広報は昭和46年度の途中から今日まで年4回、定例会ごとに発行されてきました。広尾民報が議員の間でも話題になり、住民が主人公という考えなら町議会でも報告するのが当たり前となつて、1年生議員の私が、初回の特別委員会で副委員長となりました。

皆さんの町政に対する願いや不満、建設的な発想などが議会でのように議論されたか、忙しくて傍聴もままならず、議員の活動も知る機会が少ない、そういう現実にせめてもとの思いで紆余曲折を経ながら今日まで続けてきました。町村議長会でも先進の実例の紹介や研修会の開催などに力を入れて、今ではほとんどの町村議会では広報が発行されています。これからは皆さんとの重要な接点として議会広報は発行されるものと思います。

私は、皆さんからの感想などを聞かされ嬉しかったことも忘れずに、これからは読ませていただく立場から広尾町議会広報を楽しみにしていきたいと思ひます。

車 清 一 記